

かたまりから生み出す「波」

～「立体を削る」活動の導入～

1. 設定の理由

地域の特色を生かした教材を用いることで子ども達は地域の良さを感じ取り、関心・意欲を持ち主体的に活動することができるのではないかと考え、身近な自然・地域の偉人などから連想される「波」に着目した。波が見せる景色は様々で、子どもひとりひとりのとらえ方も異なり自由な発想と表現ができる。

本題材ではその波を、形としてとらえ立体として自由に表現させることを目標とした。かたまりから彫ること、つまり立体で表現することは絵や版画などの平面表現にはない要素がある。動きの変化、量感、奥行きなど「空間」を表現することができ、子どもたちひとりひとりがイメージする波を大事にしながら、表現する楽しさを味わうことができるのではないかと考えた。

しかし、立体から「彫る」や「削る」という活動は、木材や石材など様々な素材で行うことができる一方で木目や石目、材料の柔らかさや硬さなどが抵抗となり、イメージしたことを形に表現することが難しい。そこで、今回は「彫りやすい」「削りやすい」という特色をもつ手軽な素材を用いることでイメージした形を自由に表現できるのではないかと考え本主題を設定した。

2. 研究仮説

- (1) 様々な体験や材料に触れる活動を取り入れることによって、発想を生み出し、波に対するイメージを広げることができるだろう。
- (2) 削りやすい材料や道具を工夫することで、自分なりに立体として表現する楽しさを味わうことができるだろう。

3. 研究内容

第5学年 図画工作科実践授業を通して

「波の〇〇になって、自分だけの波をつくりだそう！」

4. 結論

- 実際に「波」にふれたり、伊八の作品を見たりしたことで、波の形や動きなど、伊八の作品を参考にし、発想を広げ造形活動することができた。
- 削りやすい材料として吸水スポンジを用いたことは、初めて「立体を削る」という活動の導入として適していた。
- 試しの時間を設けたことで表現の幅が広がり、材料の性質や道具による表現効果に気付きながら活動できた。

1. 研究主題

かたまりから生み出す「波」
～「立体を削る」活動の導入～

2. 研究主題設定の理由

造形的な活動において、地域の特色を生かした教材を用いることで子ども達は地域の良さを感じ取り、関心・意欲を持ち、より主体的に活動することができるのではないかと考える。そこで、身近な自然・地域の偉人などから連想される「波」に着目した。波が見せる景色は様々で、子どもひとりひとりのとらえ方も異なり自由な発想と表現ができる。

本題材ではその波を、形としてとらえ立体として自由に表現させることを目標とした。かたまりから彫ること、つまり立体で表現することは絵や版画などの平面表現にはない要素がある。動きの変化、量感、奥行きなど「空間」を表現することができ、子どもたちひとりひとりがイメージする波を大事にしながら、表現する楽しさを味わうことができるのではないかと考えた。

しかし、立体から「彫る」や「削る」という活動は、木材や石材など様々な素材で行うことができる一方で木目や石目、材料の柔らかさや硬さなどが抵抗となり、イメージしたことを形に表現することが難しい。そこで、今回は「彫りやすい」「削りやすい」という特色をもつ手軽な素材を用いることでイメージした形を自由に表現できるのではないかと考え本主題を設定した。

3. 研究仮説

- | |
|---|
| <p>(1) 様々な体験や材料に触れる活動を取り入れることによって、発想を生み出し、波に対するイメージを広げることができるだろう。</p> <p>(2) 削りやすい材料や道具を工夫することで、自分なりに立体として表現する楽しさを味わうことができるだろう。</p> |
|---|

4. 研究内容

第5学年 図画工作科実践授業を通して

「波の〇〇になって、自分だけの波をつくりだそう！」

5. 実践 第5学年2組 図画工作科指導案

1. 題材名 「波の〇〇になって、自分だけの波をつくりだそう！」
2. 題材について

(1) 題材

本校は「日本の渚百選」に選ばれた前原・横渚海岸を臨む立地となっており、子どもたちは砂遊びや海水浴、サーフィンなどのマリンスポーツなどに親しむなど、海を身近なものとした環境にある。また、鴨川市は江戸時代中期に活躍した「波の伊八（武志伊八郎信由）」の生誕の地ともなっている。

今回は自分たちの地域に密着している「波」を実際に海に行き、形や動きなどを観察したり、波の伊八の作品を鑑賞したりすることを通して、ひとりひとりの波に対するイメージを広げさせたい。

本題材では、「彫りやすい」「削りやすい」という特色をもつ手軽な素材として生花用吸水スポンジを用いることにした。生花用吸水スポンジはフラワーアレンジメントなどに広く普及している。学校では、入学式や卒業式のテーブルの生け花に用いられ、直接子どもたちが目にするのではない。この吸水スポンジは水を含ませると、少しの力でサクサクと削ることができる。しかも、スプーンやフォーク、くし、割り箸など身近なものを道具として利用することもできる。加工しやすい素材と身近な道具を利用できる点を大切に、子どもたちひとりひとりがイメージした波を「彫る」「削る」という活動への関心を高め、立体として表現する楽しさを味わわせることをねらいとする。

(2) 児童の実態 (男子15名 女子7名 計22名)

アンケートより

- | | | | |
|---|-------------------|----------------|--------|
| 1. いままで何かを「彫る」という活動をしたことはありますか？ | はい 100% | いいえ 0% | |
| 2. それはどんな活動でしたか？・・・木版画、ねんど | | | |
| 3. どのような道具を使って活動しましたか？・・・彫刻刀、ねんど用のへら、ひも | | | |
| 4. その活動ではイメージしたものを彫ることができましたか。 | はい 78% | いいえ 22% | |
| 5. 「波」からどんなことを感じますか？ | | | |
| ○はくりよくがある…10 | ○きれい…8 | ○気持ちがいい…7 | |
| ○大きかったり小さかったりする…6 | ○ゆらゆらしている・ゆれている…5 | | |
| ○色々な色がある…4 | ○落ち着く…3 | ○大きい…3 | |
| ○日に当たるときらきらしている…3 | ○時間によって様子が違う…2 | | |
| ○水しぶき…2 | ○あたたかい…2 | ○冷たい…2 | ○おもしろい |
| ○ゆるやか | ○サーフィン | ○高いところから下へと落ちる | |
| ○さわやか | ○わくわくする | ○みんな大好き | ○安心する |
| ○ゆったりだけど、はくりよくがある | ○ダイナミック | | |

本学級の児童は、図画工作の授業を楽しみとしている児童がほとんどである。第4学年で行った木版画にも楽しんで取り組むことができた。

木版画上にイメージしたことを彫ることができたと答える児童が78%いるため、さらに多くの子ども達にイメージしたものを表現できるという楽しさや「彫る」「削る」活動への関心を高めさせたい。

粘土を使った題材を1学期のはじめに取り組んだところ、芯材の作成や粘土をつける際「どうやったらよいのだろう」「大丈夫かな」と自身の作品や活動への不安感で手が止まったり、友達の制作の様子が気になったりする児童が見受けられた。そのような場面では、具体的な方法

の提示、賞賛する声かけが必要であると反省した。

鑑賞の活動では、子どもたち同士で作品を見合いその作品の良さを見つけたり、作者である児童に質問をしたりするなどその作品へ興味をもって接する姿が見られた。

子ども達が「波」に持っているイメージは様々で、幅広い感じ方をしていた。海を見たり遊んだりした経験から「波」のイメージを感覚としてはとらえていた。

(3) 指導観

①発想を生み出す工夫 〈資料1、2、3〉

意図的、計画的に、発想を生み出す場を設定した。

まず、自分がイメージする「波」のアイデアスケッチをする。次に、海岸へ行き実際の波を見て触れる。波の様子を確認し実物の波の形や模様を見て新しい発想をしたり、描き足したりさせる。

その後、校外学習を計画して、郷土資料館に展示してある地域の名工の作品を見学する。実際の作品を目の当たりにしたり説明を聞いたりして作品としての波の形や彫り方を観察しその技巧に興味を持たせる。

そのようにして波に対する新しい自分のイメージをもたせ、段階を踏みながら発想を膨らませていく。

②活動の工夫

材料の工夫

どうしたら彫ることや削ることへの抵抗をなくせるのか、いろいろな材料で吟味してみた。木の実や木の皮・コルク・バルサ材・柔らかい石・石膏ボード・発砲スチロール・緩衝材などを試してみたが、硬い素材を彫ったり削ったりしようとするとその固さや繊維方向など彫りやすい向きがなかなか見つからず難しさやもどかしさを覚えた。いくつか試してみたところ生け花などで使われる生花用吸水スポンジに行き当たった。生花用吸水スポンジは、水を吸わせないままでも容易に成形することができるが、水を吸わせると重量が増し安定感と適度な硬さも生まれ更に成形が容易なものとなる。

また、彫刻刀などの専門的な道具を用いなくても加工することができる。そのため、表現に適した道具を子どもたち自身が選びその効果や可能性に気付かせ、発想を広げ活動させたい。

試しの時間

絵画の色塗りでは水や色をつけたしたり、粘土であればつなげたり組み合わせたりして修正することができるが、「彫る」「削る」活動は元通りにならないため「失敗したらどうしよう」という不安感を抱いてしまう。そのため、試しの時間をつくり本番の1/2のサイズのスポンジを渡し、材料や道具の特徴をつかむ時間を設ける。実際に材料に触れて性質を感じたり、道具の使い方を試す経験をしたりすることで安心して活動に取り組めるようになると考える。

3. 題材の目標

【関心・意欲・態度】自分の表したいことを彫ったり削ったりして、表現するよさを感じ取りながら楽しんで活動しようとする。



【発想や構想の能力】自分のイメージを持ちそれを表すために構成や彫り方を考えることができる。

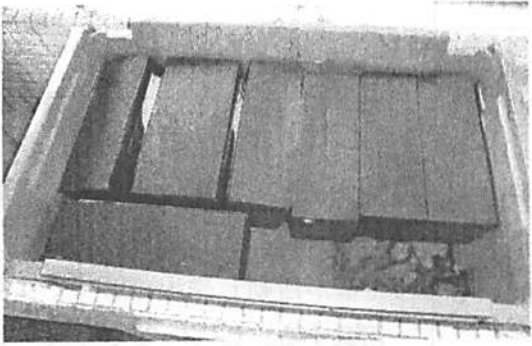
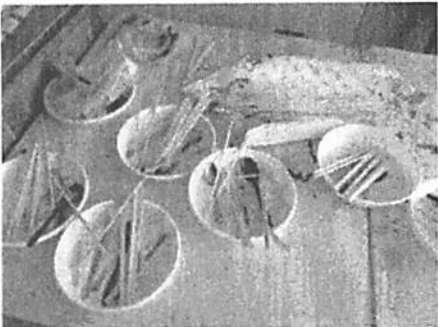
【創造的な技能】イメージした波を自分なりの表現方法を工夫して彫ったり削ったりすることができる。

【鑑賞の能力】自分や友達の作品の表現の仕方の違いや、形のとらえ方の違いのおもしろさを味わうことができる。

※道徳教育との関連 4-(7) 郷土愛・愛国心 [郷土や和が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。]伊八のことを知り、郷土に関心を持つことができる。

4. 指導計画（7時間扱い）

時数	活動のねらい	・活動の内容 ※指導上の留意点
1	・波について、自分のイメージを持つとする。	・思い描いた波を平面に描いてみる。 ※一方の向きだけではなく、様々な方向で描いても良いことを知らせる。
2	・前原海岸で自然の中にある波を見て、イメージをふくらませる。〈資料1〉 	・浜辺やテトラポット、防波堤に打ち寄せてきたうねりや、盛り上がった形、しぶきなど自然にできた波の面白さを観察する。 ※海辺での活動となるため、安全面に考慮する。 ※見学時の波の写真やVTRを撮っておき、活動の際に子ども達が自由に見ることができるようにする。
3	・郷土と関連付けながら、波にまつわる作品に関心をもつ。〈見学の事前調べ〉	・パソコンや「わたしたちの鴨川市（歴史編）」を使い「波の伊八」を調べる。 ※調べて感じたこと思ったことを自由に個々で発表させる。
4	・「鴨川市郷土資料館」で波の伊八の作品を鑑賞し作品づくりへの意欲を持つ。 〈資料2〉 	・学芸員の方の話を聞いたり鑑賞したりして、作品の特徴や良さに気付く。 ※色々な角度から鑑賞するように助言する。 ※疑問に思ったことを学芸員の方に質問するよう声かけをする。


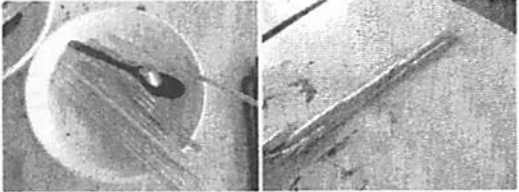
<p>5</p>	<p>・材料の性質に気付く。</p> 	<p>・1/2サイズの吸水スポンジに触れ、彫ったり削ったりすることを試しながら性質を感じ取る。</p> <p>※テーブルごとに色々な道具を用意し、様々なことに取り組める環境をつくる。</p> 
<p>6 (本時)</p>	<p>・イメージした「波」を立体に表現する。</p>	<p>・吸水スポンジを色々な道具を用いて彫ったり削ったりし自分なりの波を表現する。(※展開例参照)</p>
<p>7</p>	<p>・お互いの作品を紹介し合ったり見合ったりして、それぞれの良さに気付く。</p>	<p>・友達との表現の仕方の違いや、形のとらえ方の違いに気づく。</p> <p>※自分の「波」を作品カードをもとに紹介し合う。</p>

5. 本時の指導

(1) 目標 イメージした波を自分なりの表現方法を工夫して彫ったり削ったりすることができる。

(2) 展開 (6/7)

時配	学習活動と内容	○指導上の留意点 ☆評価
<p>導入 5</p>	<p>1. 前時までの活動を振り返り、本時の活動につなげる。</p> <p>○試しの時間にどんな波ができたか発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スプーンを使ったら、丸い形の波になった。 ・針金を横に動かして切ったら、模様ができた。 ・削った波を合体させる工夫をした。 <p>○伊八の作品を見て思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごく細かいところまで彫ってあって立体的だった。 ・波が今にも動き出しそうで勢いがあった。 ・遠い波や近い波の奥行がすごかった。 	<p>○前時までの活動を振り返らせ、様々な道具で彫ったり削ったりした活動を想起させる。</p> <p>○どんな形の波ができたか、制作の過程を語らせたり、質問をしあったりし技巧の共有化を図る。</p> <p>○伊八の作品を見て思ったことを語らせ、制作する時に参考にしたいことを話し合わせる。</p> <p>☆前時までを振り返り、本時の活動の見通しを持つことができたか。【意欲】(発表)</p>

<p>展開 35</p>	<p>2. 本時の活動のめあてをつかむ。</p>	
<p>「波の〇〇」になって自分だけの波をつくりだそう！</p>		
<p>まとめ 5</p>	<p>3. イメージした「波」をつくる。</p> <p>○イメージが形になるように道具の使い方や彫り方、削り方に工夫してつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針金を使ってやわらかい形の波を作ろう。 ・模様のある波にしようかな。 ・「伊八」みたいに勢いのある波を作りたい。 ・たくさんの波を作って並べてみよう。 <p>○自分や友達の作品の良さを感じながらつくる。</p>  <p>4. 作品を乾燥棚に移し材料、道具の片づけをする。</p> <p>5. 制作した作品の工夫した点を振り返る。</p> <p>○どのような形ができて、どのような工夫をしたのか作品カードに書く。</p>	<p>○道具を自由に使って活動してよいことを知らせる。</p> <p>○児童が活動しやすい場づくりや道具を用意する。(スプーン、フォーク、竹ぐし、ようじ、割りばし、針金のワイヤー)</p>  <p>○共感や賞賛の言葉かけをしたり、どのような波が思い浮かんだのか問いかけたりして活動の意欲化を図る。</p> <p>○手が止まっている児童には、試しの時間の作品や友達の作品を見ても良いことを助言する。</p> <p>○教室内に波の写真を掲示したり・波の映像を自由に視聴できるコーナーを設けたりして発想を広げられるようにする</p> <p>○制作途中の作品を見合う時間を設定し、友達同士の作品の楽しさやおもしろさ、道具の使い方の工夫を見つけるよう促す。</p> <p>☆イメージした波を自分なりの表現方法を工夫して彫ったり削ったりすることができたか。【技能】(活動・シート)</p> <p>○制作後すぐに、工夫したことや参考にしたことなど感想を書かせる。</p>

6. 成果と課題

仮説(1)より

- 実際に「波」にふれたり、伊八の作品を見たりしたことで、波の形や模様、伊八の作品を参考に発想を広げながら造形活動することができた。海岸の活動では波打ち際で遊んでいるようにも見受けられたが、帰ってきてから書いた感想では、「大きい波や小さい波の大きさにもすこし工

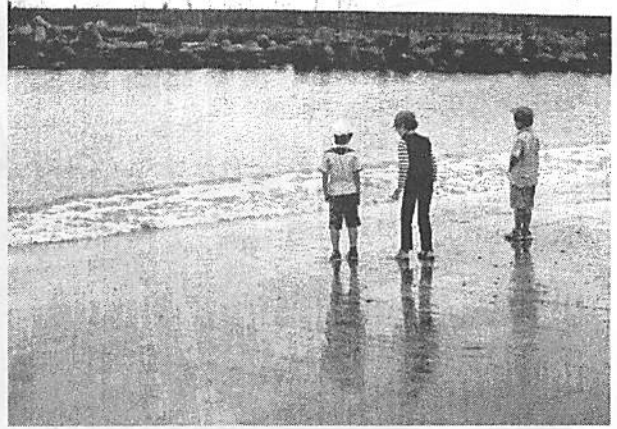
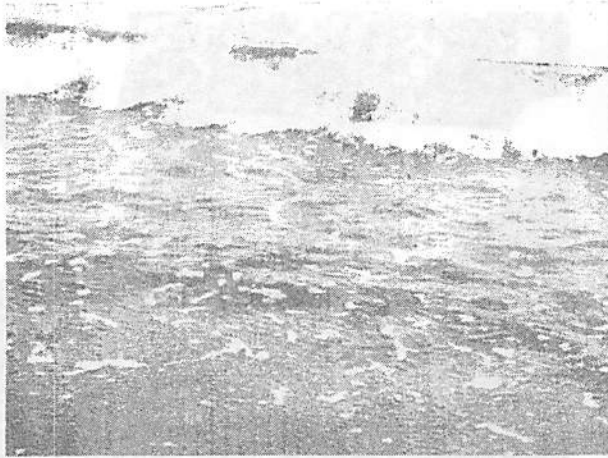
夫できたらいいな。」「波を見ていると色々な形があつて興味がわきました。」など子どもなりに波から感じ取ったものがたくさんあった。(資料3)

- 郷土資料館ではショーケースを正面や斜めから見て、ロールしている波の見え方の違いを見つけたり学芸員の方の話を聞き伊八の偉業に興味津々だった。この校外学習を通して伊八の作品の良さを作品に取り入れたいという思いを持つ子どもが多く見られた。

仮説(2)より

- 削りやすい材料として吸水スポンジを用いたことは、初めて「立体を削る」という活動の導入として適していた。木や蠟など扱いの難しいものにも触れさせ特性の異なる素材にも取り組ませたい。
- 試しの時間を設けたことで表現の幅が広がり、材料の性質や道具による表現効果に気付きながら活動できた。本時では、教師の用意した道具だけではなく子どもたちが大きさの違うスプーンなど各自のアイデアで家から用意した道具を使い意欲的に取り組んでいた。
- 普段は材料を前に思案して手を止める子もいるが、写真や映像をヒントにし全員が「彫る」「削る」の活動に初めから没頭することができた。
- 削ってしまったものを捨てるのではなく、断片を組み合わせたり並べたりするなど発想を膨らませながら活動をする姿が見られた。
- ほとんどの子ども達が、イメージしたものを彫ることができた。(資料3、5、6、7、8)
- ※郷土資料館を見学したことが町おこし(伊八を広める活動)に力を入れている団体の耳に入り、「板に波を彫りレリーフをつくりませんか。」という話をいただいた。2学期に向けて前向きに計画をつめていきたい。(検討中)
- 水分を多く含むので手元がびしょびしょになるという難点もあった。そこで快適に作業ができるように新聞紙を交換するなどの補助を行った。

前原海岸での様子



- 波が来的时候に1回1回波が来る形が違っていました。
- 泡が広がって細長い丸の形になっていた。
- 波がゆらゆらとゆれていた。
- 見つめていると次から次へと波が寄せてきた。
- ゆるやかな波でも壁に当たってしぶきがあがっていた。
- 見つめていると大きな波や小さい波があり、大小それぞれでした。

感想

一つ目は海水が流れてきてすなの上にくる白いあわのよつなものが出ます。一秒くらいつとあわが広がって細長い丸になります。いつも海で遊んでいたのにそういう所に目がいきませんでした。

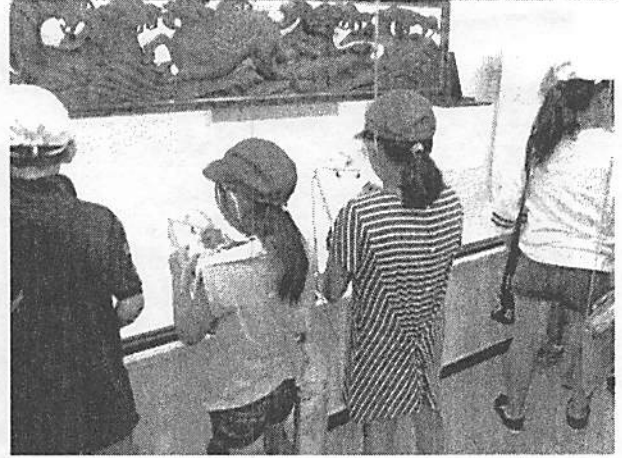
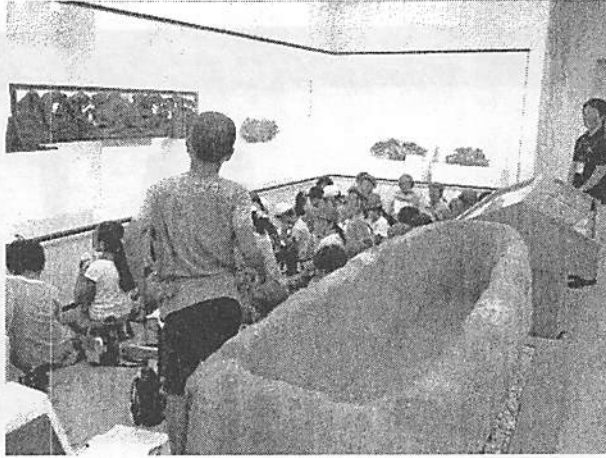
二つ目は海水が来るとき一回一回海水が来る位置が違います。

三つ目は同じ所に立っていても私の足をこえたリ足み手(肘)で引いたりそれそれちがいました。

波が次から次へと押しよせてきました。ほんのクレーマーの波とちがってとてもおだやかでした。それにめいふきが予想以上大きかったです。少し月丸くめいていると大きな波や小さな波など大トそれぞれで波バツし味があわってきて自然の波を改めて知りました。そしてまた前原海岸に行き自然の波を見てみたいです。

波はとても小さくてかわいかったです。波がキラキラしていてすごくキレイでした。ゴミなど色々な物が落ちていたので。もっと海をキレイにしたいなと思いました。波がおしたり、ひいたりして、おもしろかったです。

波の伊八の作品の見学



○それぞれの波の形が違う。

○ひとつひとつの波が丁寧に細かく彫ってあった。

○9 cmの一枚の厚さの板なのにどうしてあんなに立体のようになっているのだろう。

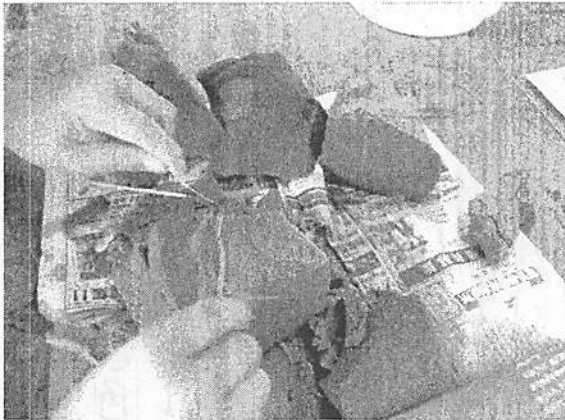
○遠い波・近い波がありリアリティーがあった。

○目の錯覚を使って、自然の形にしていると聞いておどろいた。

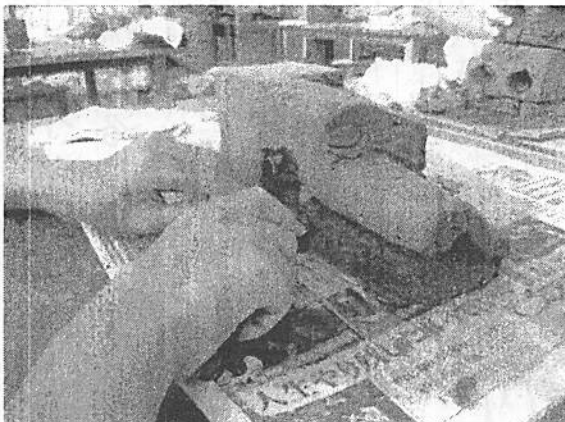
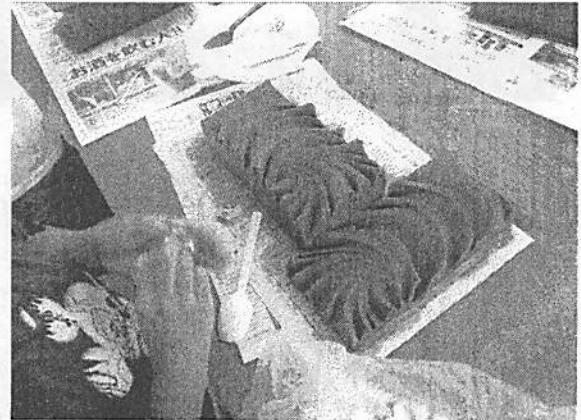
○広がるように波を彫ってあった。

○強い波や荒い波があった。

制作の様子



○針金のワイヤーで波の形にしました。



○スプーンで丸く削りだして立体感をだしました。

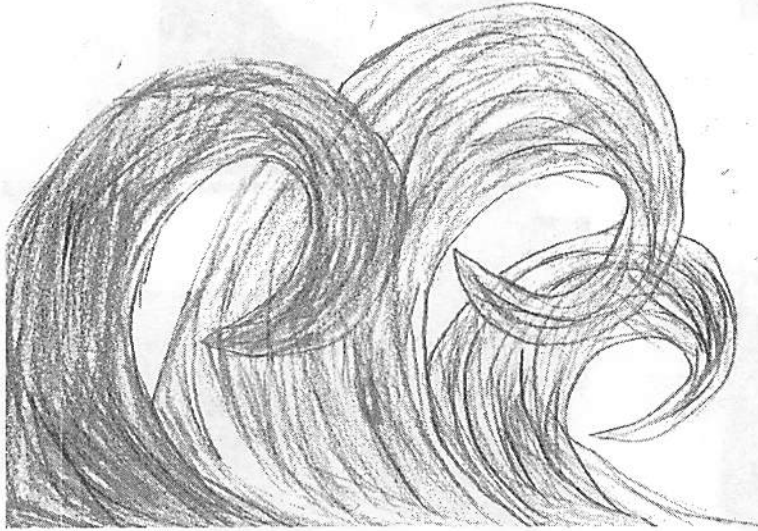


児童Aの変容 発想から制作へ

①「波」から感じること (6月22日)

きれい、はくりにくがある、みんなが大好き

②心に浮かんだ「波」 (6月22日)



波の最後のくるまわりのイメージをかきました

③海岸で「波」を見た感想

(7月3日)

波のバシャーンという音や波のすしすしちいさい音がとろもろい
 だと思いました。
 そしてその波のバシャーンという音や波のすしすしちいさい
 音を絵にあらわせたらいいなと思いました。
 波のすしすしちいさいの時にすくすくくる白いものもあつたし、
 大きい波や小さい波の大ききにもすしすしくらうで
 きたらいいなと思いました。

④「伊八」の作品を見た感想 (7月7日)

「波の伊八」
 波の伊八のさくひんを見てわたしはたくさんを知りました。
 一番おどろいたのはいたが9cmだけということでも
 どうしたらあんなふうになるのかきになりました

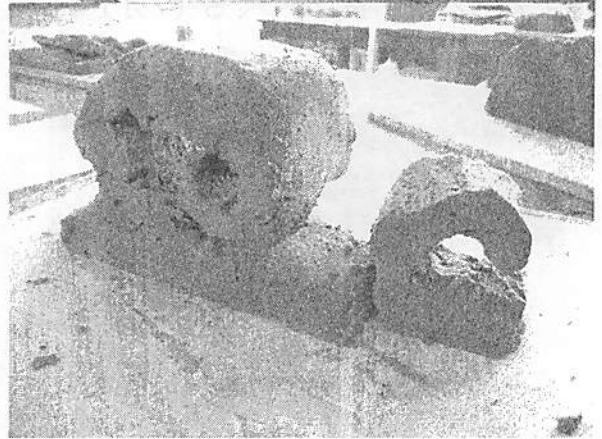
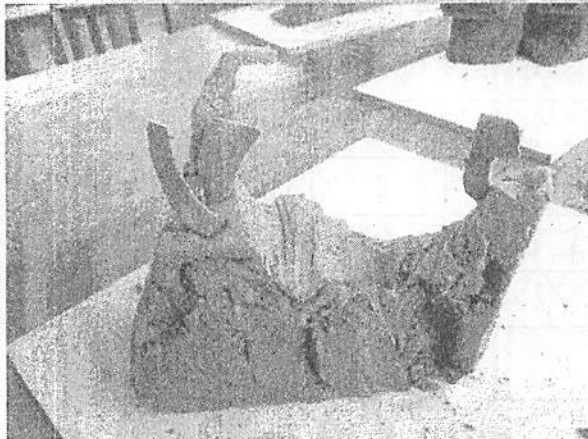
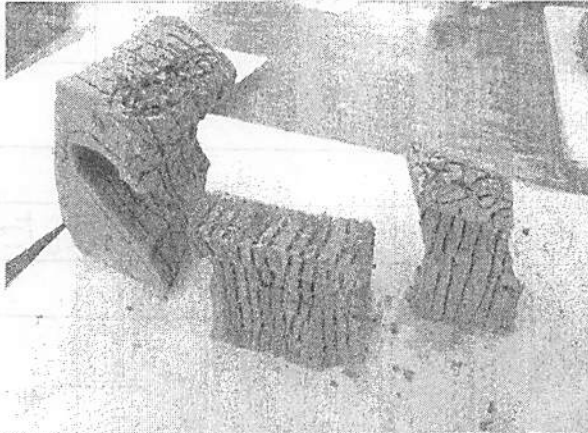
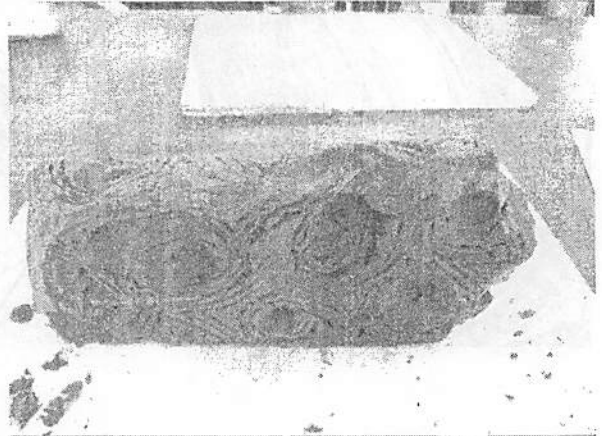
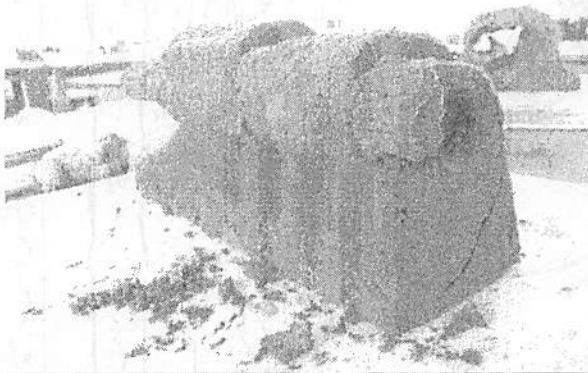
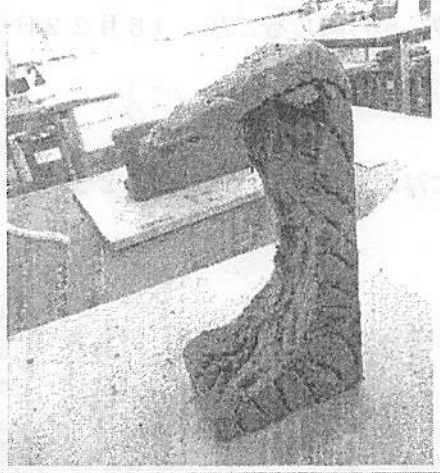
⑤イメージした「波」をつくる (7月14日) ⑥感想 (7月14日)

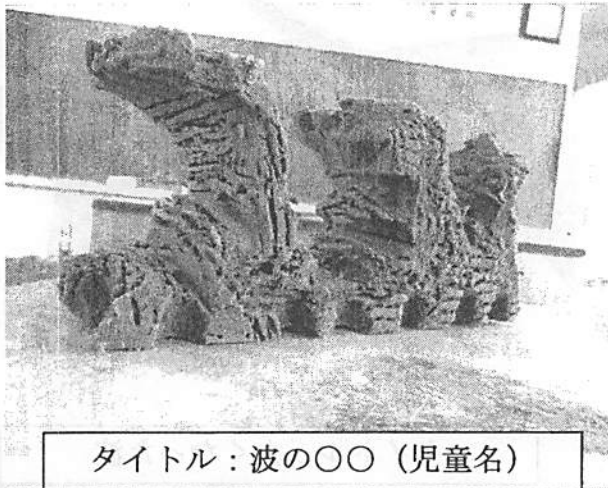


タイトル：なかよしな波の兄弟

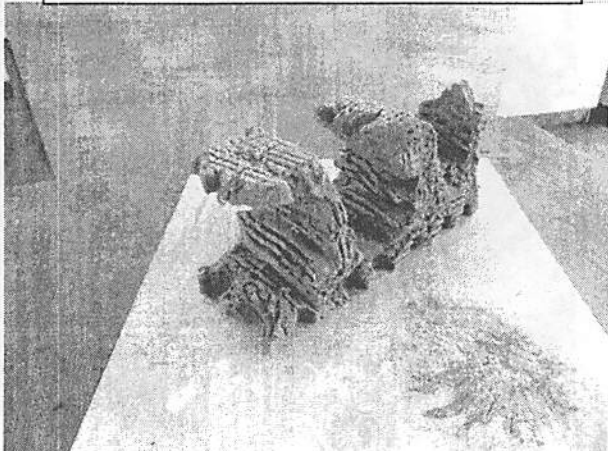
波のかく度やりたいかんか
 できるようにエドしました。
 すこしむすかしかたけど、
 なとくな作品ができて
 よかったです。

児童の作品





タイトル：波の〇〇（児童名）



感想

かぶさってる戸をいじりてっくり
 ました！
 フォークをつかたことになおにせん
 がつくりました。
 私は、あまリかんがひえないでつく
 りました

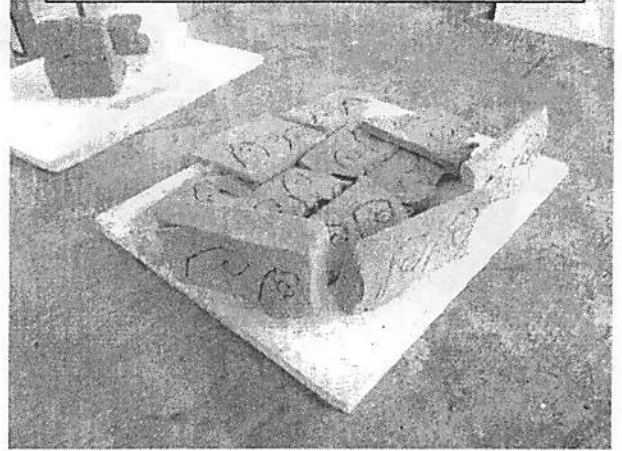
友達からの感想

フォークのつかい方が上手
 でした。かぶさる感じがあ
 てはくりよくありました

ギザギザのところが上手で、
 道具の使い方が上手だなと
 思った。かぶさる感じがする。



タイトル：「波の伊八」の
 「11」コピー



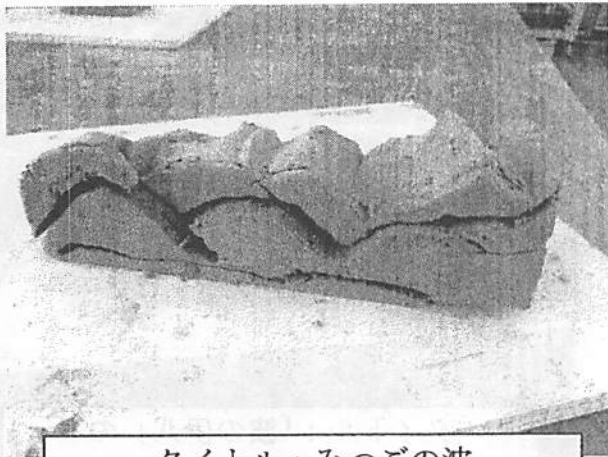
感想

コピーのように、大きながたまりを何枚
 もはりかおでき、波のようにつくりました。
 何まいもつたので、まるでコピーした
 ように見えます。ほかにも、いよ元も使
 ました。とてもむずかたです。でも、
 んばれました。形を色々変えられます。

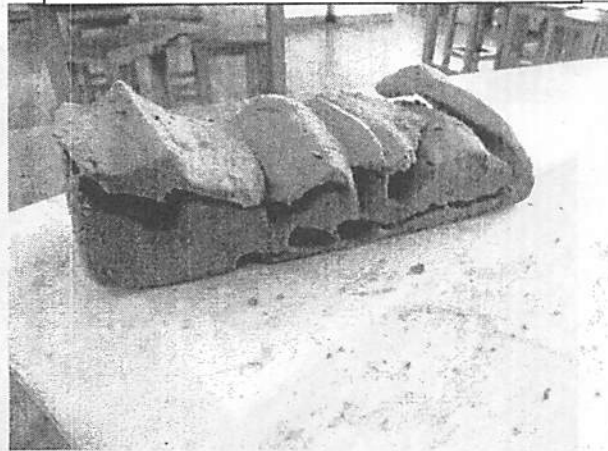
友達からの感想

波をくみたてることができる
 なんですごい。

「11コピー」というタイトルは、
 11枚が色々な色もあって、
 よいと思う。



タイトル：みつごの波



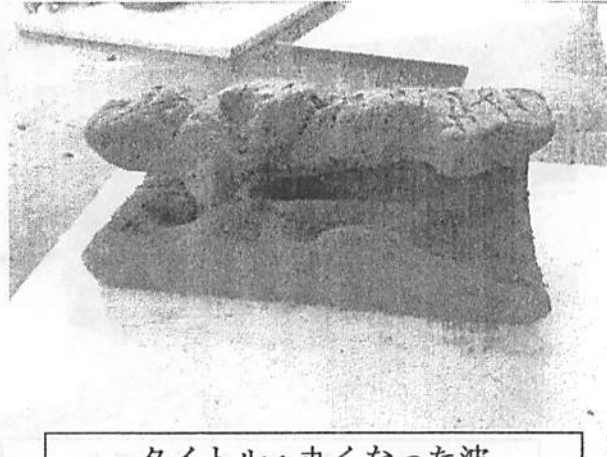
感想

わりはしを使って穴をあけました。
立体感を出しました。
一つの波をもう一つの波の上ののせて
伸ばした三つ子をイメージして作りました。
「波の伊八」さんはリアル感がいいので
リアル感を出せるようにがんばりました。

友達からの感想

みんなとは、ちがって、波
の中にまた小さい波を
つくったり波が上までず

なみが、くねくねして
いて、たいかたが
おごい！



タイトル：丸くなった波



感想

中をほりぬくの時間とかけました。
ところどころにくぼみをつくらせて波らしく
しました。ごろつがせて水しぶきをイメ
ジさせました。線のもようをつけました。
波の伊八の作品を参考に作りました。

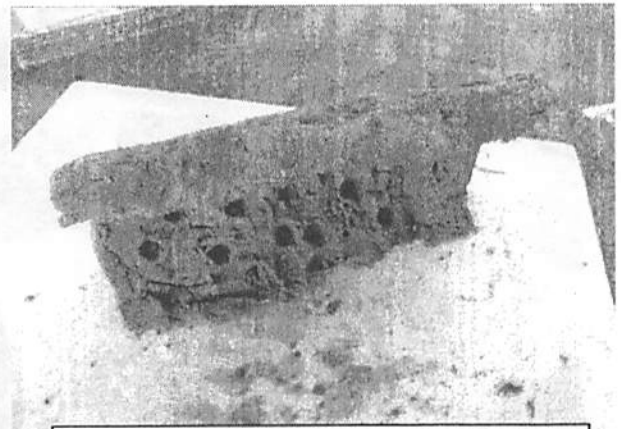
友達からの感想

波がいろいろなかたち
かてこぼこがある。こぼ
りなくもある。こぼこくじょう
がでした。

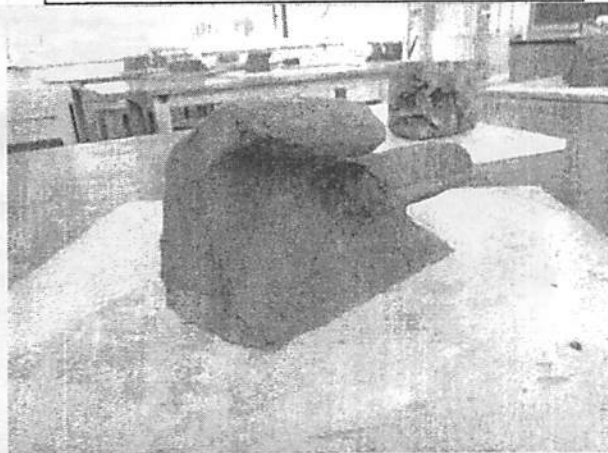
はくりよりのある波で大
きくてすごいなと思ほ
いた。



タイトル：ぼくの波



タイトル：波の〇〇 (児童名)



感想

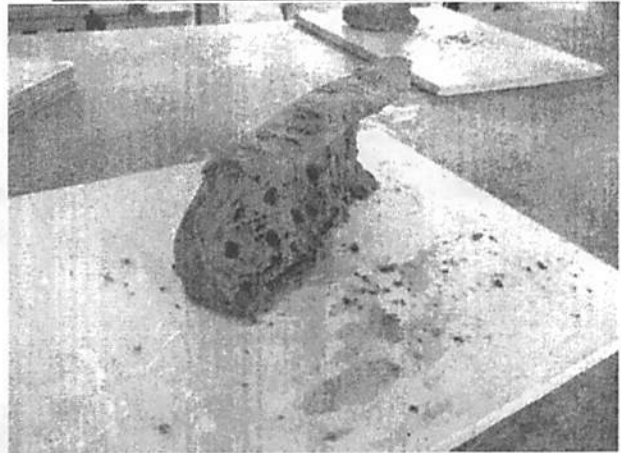
・まのつくった波をさくこうにして
 つくった。
 ・波の形をかんがえてつくった。
 ・はりがるとスプーンをつかして
 つくった。
 ・波の高さが同じにならないう
 じきをつけた。

友達からの感想

カーブが、キレイにつくれ
 ていると思った。本当に
 波がかかってくるみたい

かくどが良い！
 ↓
 もうすぐおろそくな波

波の角度がすごかったです！
 2つの小さな波がかわい
 かったです。上手だね！！



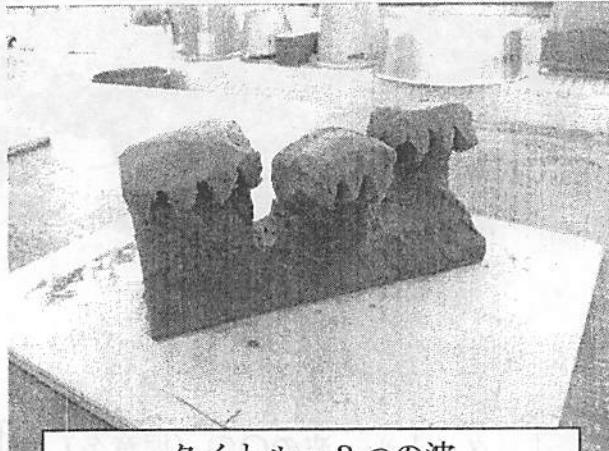
感想

・立体感を出すようにした。
 ・はくはくのはる油をほった。
 ・工夫してほるのかまつかしかつ
 た。
 ・波をかかってくるようにした。
 ・まきりえを付けて付けた。

友達からの感想

カーブのつくり方が上
 手です。波にも、まづが
 あってすごいと思ひました

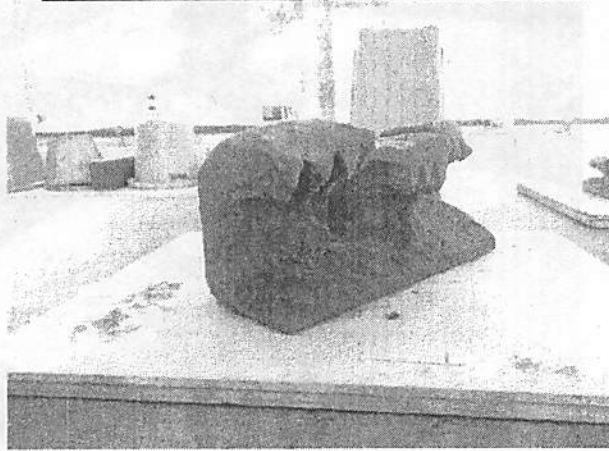
波がおしがかかってくるよ
 うな立体的でびっくりしました



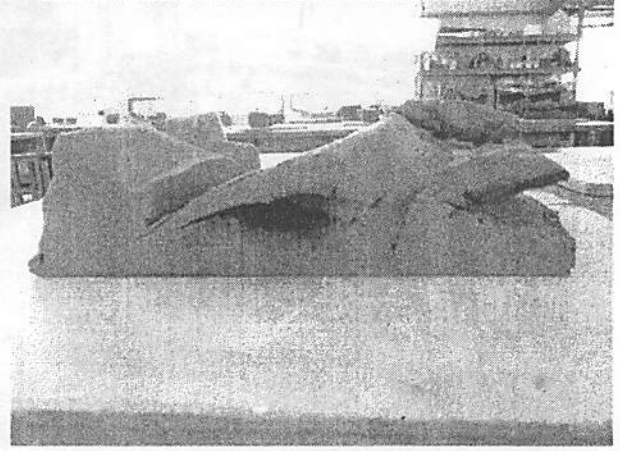
タイトル：3つの波



タイトル：いろんな波



感想



感想

「波の伊八」を目標に作ってみました。校外学習で、波の伊八の作品を見に行った時、「本当にすごい」と思い自分も立体的に作ってみました。でもなかなか上手にいきなかつたです。色々な道具を使って波を作るのはとても楽しかったです。

友達からの感想

3つの波のバランスや立体感がいい

- ・波を立体できに作っているところがすごい。
- ・大きな波がきたイメージを作っていてすごい。

海に行ったときの波を思い出して作りたばかりにも波の伊八の作品を参考に作りました。道具はスプーンとはりかねをつかりました。いろんな波をつくるのはおもしろかったです。

友達からの感想

波の伊八さんの作品に、似ている。いろいろな種類の波がなまりすごい。〇〇〇〇

波が大きかったり小さかったりしてはく力があってすごいと思います。

導入で活用したワークシート

「波」ってなに？ 「波」のイメージをスケッチをしよう

5年 組 番 名前

1 「波」から感じたことを言葉に表してみよう

--

2 自分の心にうかんだ「波」を言葉や絵でスケッチしてみよう。

--	--

3 どんなことをスケッチしたかな？

--

(実際にはB 4サイズに印刷し活動しました。)

--	--

--	--

作品カード

5年 組 番 名前

タイトル

--

感想 工夫したこと

友達の作品を鑑賞して

さん	

友達の作品を鑑賞して

さん	